

調達管理番号・案件名
25a00856_全世界(広域)グローバルサウス向け AI 人材育成・エコシステム形成にかかる情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年2月6日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	9	第3条 調査実施の留意事項	「グローバルサウス諸国に対して教育コンテンツの提供のみならず学生に対する日常支援等を高い質をもって実施する講師陣・チューター体制、及びグローバルに進めるマネジメント体制を有すること」とあるが、「学生に対する日常支援」とは、学習支援以外にどのような支援を期待されているのか？	本業務において想定している「学生に対する日常支援」とは、学習の円滑な進行および受講者の理解度・習熟度向上を目的とした支援を指しています。講義に限らず、各提出課題への指導・フォローアップ等、受講者が学習内容を十分に理解・定着させるための継続的かつ実践的な学習支援全般とご理解ください。
2	9	第3条 調査実施の留意事項	「バックアップ体制にて英語に加え多言語対応可能なメンバーが配置されるとより望ましい」とあるが、英語、フランス語、スペイン語以外に対応が期待される言語があれば教えてほしい。	英語は必須としますが、その他言語について、特定の言語をあらかじめ指定するものではありません。本業務では、多様な国・地域の受講者を想定していることから、その他言語については、円滑な運営や受講者支援の観点で、想定する対象国・地域の選定方針や、当該国の公用語・主要使用言語に応じてご検討ください。
3	10	AI人材育成教育コース	ライブ型でのeラーニング(ライブ配信や対面演習など)が要求されており、また講義は「基本的にインタラクティブなものとなるよう工夫する」とあるが、オンライン学習は、ライブ型でのeラーニングをメインに想定されているか？ 参加人数や時差などを考慮しオンデマンド型でのeラーニング(講義録画配信、ディスカッションフォーラムやチャットの活用など)をメインにした形態を想定すればよいのか？ ライブ型とオンデマンド型の比率の想定などがあれば教えてほしい。	ライブ型・オンデマンド型各々に特性や利点・課題があり、本調査業務では、受講者数の規模、参加者の属性や習熟度のばらつき、時差・通信環境等を踏まえつつ、研修効果の最大化および修了率の向上につながる学習設計が重要であると考えています。そのため、組み合わせ方や比率について、あらかじめ明確な想定は設けておりません。マスメディア教育の中で、受講者同士や講師との双方向性をどのように確保し、理解度・定着度・修了率を高めるかという観点から、最適と考える学習形態・運営方法をご検討いただき、その考え方や工夫点をプロポーザルにてご提案ください。

4	12	社会実装の定義	研修修了生の社会実装パスという項目があるが、社会実装というのはどの程度の実装度を想定しているか？対象が一部を除き学生なので、生成AIを利用した社会実装と言っても企業が提供するようなサービスを期待できない。そのため、期待される実装度のレベル感をお伝えいただきたい。可能であれば、貴機構が考える社会実装の定義もご教示いただければなおありがたい。	本調査業務のパイロット事業として想定している「社会実装」は、研修修了生が本研修を通じて習得した知識・技術を活用し、自国における具体的な社会課題を特定・言語化した上で、その解決に向けた実現可能なアプローチやプロトタイプ、実証的な取り組みを提示できる状態を想定しており、課題の規模や影響範囲の大小は問いません。 また、本パイロット事業は、将来的に研修修了生がスタートアップ創出や起業、あるいは社会課題解決人材として成長していくための人材育成およびエコシステム形成に向けた一要素として位置づけています。その初期段階としての社会実装を位置づけています。
5	14	大学との連携	本件業務では最大2万人に対して研修を行うが、その中で研究機関との連携を想定していると考えます。これは、各国の主要研究機関または大学と、プロポーザル作成時点で連絡を取り、本件の連携策を検討することを求めているか？または、対象国と現地の該当機関を想定し、企画の段階ではコンタクトなしに、企画を検討し記載することでも良いか？	プロポーザル時点において、「対象国と現地の該当機関」を想定し、コンタクトを取ったうえでの連携策の提案は不要です。現時点で想定しうる企画を検討し、提案ください。
6	19	定額計上について	指示された定額金額の範囲内での提案を記載ください、とありますが、定額計上内の金額の内訳も提案する必要があるかお伺いしたい。	JICA指示定額計上分の見積提示は必要ありません。

以上